私たち合唱人の底力を！

このたびは、第32回埼玉ヴォーカルアンサンブルコンテストにご出場くださり、誠にありがとうございます。私ども埼玉県合唱連盟役員一同は、祈るような心持ちで世界・日本・埼玉の情勢を見守っておりました。

昨春より始まったコロナ禍の影響で、当連盟では令和2年度の総会を含むさまざまな事業の中止を余儀なくされました。当初はいち早く延期や中止を決め、より早くお知らせしようという状況でしたが、時が経つにつれ「なんとか工夫をしてできないか」という機運になって参りました。それでも、「そもそも練習ができない」状況が続く中、『『正しく恐れる』を堅持しつつ、できる方法を考えよう！生み出そう！』と変化して参りました。合唱人の底力発揮の季（とき）です。

この開催に向け、当連盟では昨年の夏より何回も会場として設定していた久喜総合文化会館に通い、館長さんをはじめ舞台スタッフの方々と綿密な打ち合わせを重ねて参りました。特に、演奏者・お客様・審査員・スタッフそれぞれの安全第一に向けての対策を講じておりました。

しかし、今回は年末からの感染状況に鑑み、『録音審査』という方法に切り替えざるを得ませんでした。そのため、皆様方には例年にならぬご不便をおかけしてしまっておりますが、どうかご理解を賜わり、ご協力のもと無事に行われるようよろしくお願いいたします。

特に、録音の際には感染防止の対策を充分にとった上で行われますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、入場券のお申込みをしてくださった皆さま、このような状況となりお申込みをキャンセルさせていただきましたこと、大変申し訳ありませんでした。

小野瀬照夫